

2025 年 11 月 26 日

公益社団法人日本技術士会
正会員、準会員各位

第 10 回理科実験事例発表大会の発表者募集について

科学技術振興支援委員会

委員長 佐久間幹

1. 目的

小中高校の児童・生徒を対象とした理科実験支援活動を行ってきた技術士の皆様に、児童・生徒の興味度、理解度、関心度を高める手法について理科教室や理科実験を実演や解説を交えて発表していただく。これにより、現在同様の活動を行っている、あるいは近い将来行おうとする日本技術士会会員の参考にしていただくとともに、理科実験事例を日本技術士会会員の共有情報及び財産として蓄積し、発表者の了解のもとに、種々な場面で活用を図る。

2. 主催：科学技術振興支援委員会

3. 発表日：2026 年 3 月 14 日（土） 13：00～17：00

4. 発表場所

①主会場参加：機械振興会館 6 階 D4 会議室

②サブ会場（WEB）参加：発表者自宅、各地域組織の会議室等、Teams を使用したオンラインでの発表。

※サブ会場の手配の場合は、発表者各自または、地域本部等にて対応をお願いいたします。なお、経費については、会場借料(必要な場合)を支給。

5. 発表内容

主に、小中高校の児童・生徒を対象にした理科実験（フィールドワークや情報処理を含む）の内容とする。発表いただいた資料は、日本技術士会 Web ページにて公開（聴講申込者にのみ開示）。半年後には、一般公開（一般公開資料では、一部抜粋など、資料の変更などの要望を伺った上で掲載させていただきます）。

6. 発表方法

パワーポイントによる実験内容説明及び解説（実験の実演を含めても良い）。

サブ会場（Web）で発表を行う場合、発表風景が解るように配信をお願いします。その際、カメラ等の補助者が必要でしたら講師で手配をお願いします。

7. 理科実験事例発表件数

発表件数は、7～8 件（予定）とする。

応募者多数の場合は、選考によりお断りすることがあります。

8. 発表会の時間割

後日、「第 10 回理科実験事例発表大会プログラム」を発表する。

9. 発表者（予定）について

発表者は、日本技術士会会員であることを条件とする。

補助者については、日本技術士会会員・非会員の資格を問わない。

10. 発表者募集締切日

2026 年 1 月 11 日（日）までに、別紙「理科実験事例発表大会応募申請書」を以下 12 項の申込先までメール送付のこと。

11. 発表資料締切日

2026 年 3 月 2 日（月）までに、以下 3 項目を 12 項の申込先までメール送付のこと。

○配布用資料、○発表用資料（パワーポイント） ○講師紹介用略歴

12. 問合せ先／申込み先

科学技術振興支援委員会事務局 鈴木 jireitaikai#engineer.or.jp（#は@に置き換えて下さい）。

13. お支払いについて

①主会場参加の方

講師 1 名のみ 謝金 10,000 円（材料費等含む・税込み）、主会場までの往復交通費負担も可能(要領収書)。

②サブ会場参加（Web）

講師 1 名と補助者 1 名のみ謝金 講師：10,000 円（材料費等含む・税込み）、補助者：5,000 円(税込み)、サブ会場までの往復交通費負担も可能(要領収書)。

備考:

- ・主会場参加の場合、同伴される補助者への謝金、交通費の支払い有りません。
- ・サブ会場の場合、2 名以上の補助者への謝金・交通費の支払いは有りません。
- ・交通費は予算を超えた場合、調整させていただく可能性があります。

以上